

## 前島のぶなが 通信

vol6  
令和7年春号

第10回(令和7年3月)定例会・第11回臨時会特集

- 中央大学法学部法律学科卒業
- 早稲田大学大学院修士課程修了



ホームページ



Facebook



X



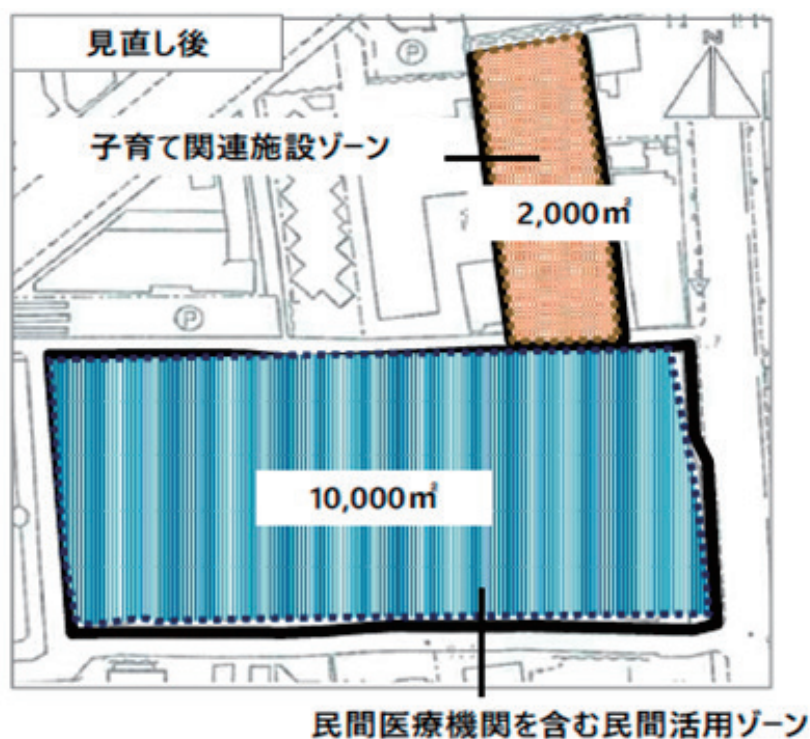
Instagram



## ●西宮市立中央病院の跡地活用について一般質問をしました。

前島

令和8年度上期の統合新病院の開院をもって、中央病院の閉院が決まっているが、残り1年少しとなった現時点においても中央病院の跡地活用について明確な指針が確定せず、市民にとっては、今後、近隣の医療環境がどうなるか大変心配な状況であることから質問する。



阪神圏域は他の医療圏域と比較して高齢者人口の増加割合が大きく、今後も循環器系・呼吸器系疾患を中心とした医療需要や高齢者の救急搬送の大幅な増加が見込まれている。また、入院患者の約63%、外来患者の約61%が中央病院から半径2キロ圏内の地域の住民で占められている。

前島

中央病院の跡地活用について、これまで地域の代表と意見交換を行っているが、どのような形で実施しているか、また、今後、地域からの意見をどのように反映していくのか。

当局

平成31年10月に周辺自治会や社会福祉協議会など地域の関係団体の代表者や、民生委員、地域のクリニックなど計11名で構成される中央病院跡地にかかる地域懇談会を設置し、中央病院跡地活用に関する検討に着手した。これまでの意見交換を通じて、地域の実情や中央病院閉院による影響を把握し、誘致する医療機関に求める機能について検討してきたところである。

前島

地域住民は、医療法上の病院であること、一定の外来診察機能・入院機能を有するいわゆる総合病院を求めていると考えるが、現時点で実際に参加できそうな医療機関は存在しているのか。

当局

これまでの意見交換を通じて、地域の実情や中央病院閉院による影響を把握し、誘致する医療機関に求める機能について検討してきた。長期化する建設費高騰の影響などもあるが、事業参画に向けて具体的に検討している医療機関の存在も確認しているところである。今後、見直し方針に沿って、公募に向けた準備を進めたい。

## ●令和7年3月26日に行われた林田町市有地における民間保育施設等整備に関する説明会に参加しました。

市(保育幼稚園指導課・育成センター課)の説明では、市内の保育需要に対応するために、中央病院跡地である本館敷地北側市有地を活用し、民間の認可保育所(子育てひろば・病児保育含む)及び放課後児童クラブの整備を行うとのこと。予定では、本年4月から7月にかけて事業者公募・選定を行い、同年10月から令和8年7月頃までを目途に設計・各種申請・開発協議を行い、整備工事を行った上で、令和9年4月の開所を目指すとのことでした。

参加者の方々からは、道路幅の増幅が必要ではないか、駐車スペースの問題が解消できるのか、また、今後、少子化が進む中でどこまで必要性があるのかなどの意見が出されました。

## ●令和7年3月26日第11回臨時会において、ひとり親家庭相談事業経費のうち養育費確保のための強制執行申立てにかかる費用補助が当初予算から外されたことに対し、質疑しました。

私は、令和5年9月定例会において、養育費確保支援事業の拡充について一般質問をしました。その結果、第10回定例会に上程された令和7年度一般会計予算においては、新規事業として養育費の不払いに対する強制執行申立てに要する費用補助が予算計上されました。しかし、同予算が否決された後、第11回臨時会に上程された令和7年度一般会計予算では、同事業に対する予算が削減されるところとなりました。

養育費の確保は、子の養育において最も重要性の高い課題の一つであるにも関わらず、同予算が削減されたことについて、疑問を感じたため、臨時会において質疑を行い、市の態度を確認しました。市は、同制度の必要性については認識しており、今後も他の手法を含めて検討するとして。令和6年5月17日の民法等一部改正により養育費の支払い確保に向けた見直しがなされる中、補正予算を計上するなどできるだけ早期に養育費確保支援事業の拡張を実現すべきであり、引き続き、今後も市に提言していきたいと思います。

※民法の子の養育に関するルールの改正についてまとめました。→こちら



※西宮市の養育費確保支援事業はこちら

